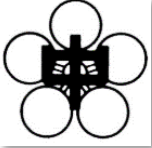


<校訓>白梅の においゆたかに 明るく強く 毎日必ず 一歩前進



輝く未来へ

教育目標「自ら学び 創造する生徒」「豊かな心で 思いやりのある生徒」「ねばり強く 健康な生徒」

板橋区立加賀中学校
学校だより
令和2年度 第9号
令和2年 8月25日
校長 水谷 智子

仲間とともに思いを叶える2学期に

～始業式式辞から～

<前略> さて、今日は「いのちの石碑プロジェクト」について、皆さんにお話しします。これは、宮城県にある女川おながわ中学校の取組です。

平成23年3月11日、東日本大震災が起きました。この板橋でも震度5強の揺れを観測し、電車が止まって帰宅困難者がでるなど、大きな被害がありました。東北地方の太平洋側では、巨大津波に襲われて、多くのいのちが失われ甚大な被害がありました。宮城県の女川町では、20mを超える津波に襲われ、900人以上の死者・行方不明者がでたということです。

震災直後に、女川中学校に入学した新生徒は64名。彼らは、社会科の授業の中で、津波被害を最小限にするための対策案について考えました。そして、① 普段からの絆を強くする ② 高台に町を造り、避難路を整備する ③ 震災の記録を後世に残す という3つの津波対策をまとめました。さらに、震災の記録を残す具体策として、町内にある21箇所の浜の津波到達地点に石碑を建てる「いのちの石碑プロジェクト」を計画しました。21の石碑を建てるには1000万円かかります。彼らはどうしたと思いますか？

「千年後の命を守る」を合言葉に、平成25年2月、中2の2月から、彼らは募金活動を始めました。修学旅行先は東京だったので、国会議事堂前でも募金活動を行いました。その結果、約半年で目標額の1000万円を超える募金を集めることができました。中3の秋、平成25年11月、女川中学校の敷地に最初の石碑を建立し、それ以降、次々に石碑を建てていきました。石碑には、「大きな地震が来たら、この石碑よりも上に逃げてください」「逃げない人がいても、無理矢理にでも連れ出してください」などの碑文が刻まれています。また、それぞれの石碑には、「夢だけは壊せなかった 大地震」など、震災後に生徒が詠んだ俳句も一句ずつ添えられています。この俳句は国語の授業の時間に作ったそうです。俳句は、NHKの国際ラジオ放送によって海外に発信され、海外との連句づくりも行われました。さらには、自分たちの話し合いをもとに、「女川いのちの教科書」をつくって、震災の記録を伝えることもしています。

そしてついに、今年の11月22日、最後の21基目の石碑の披露式を行う予定になっています。中学1年生の時に話し合いを始めてから9年。21基の石碑を建てて、彼らは22歳になりました。

私が、女川町と出会ったのは、平成25年。最初の石碑が建てられた時です。津波の爪跡が生々しく残る中、急ピッチで復興している町を訪れて、自然の力のあまりの大きさに打ちのめされました。けれども、「いのちの石碑プロジェクト」の話を聞いた時、試練を超えて、未来に向かって行動しようとしている中学生のことを知り、“中学生ってすごい力を持っているんだな”と、心の底から感動したことを、昨日のことのように覚えています。



今日、私がこの話をしようと思ったのは、皆さんに「思いは叶う」ということを伝えたいからです。今、このコロナ禍で、いろいろなことができなくなった。でもやりたいことがある。それを形にすることはきっとできる。仲間と力を合わせて、大人も巻き込んで、思いを伝え合いながら、動いていけば、必ず思いは実現できる、そのことを皆さんにわかってほしいと思います。

今日からの2学期、この加賀中学校で、みんなの夢を形にしていきたいと思います。

◎改訂「新型コロナウイルス感染症ガイドライン」に基づく変更について

8月19日付で、板橋区の新型コロナウイルス感染症ガイドラインが改訂されました。それに基づき、2学期からの学校運営に一部変更があります。「コロナウイルスは身近にある」ことを前提に、感染拡大防止に努めながら、生徒たちが充実した学校生活を送れるよう、学校全体で取り組んでまいりますので、ご理解ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

(1) 日課・週時程

2学期から、通常の50分授業を基本とし、授業の充実を図ります。ただし、面談等で放課後の時間確保が必要な場合等には、45分授業になることもあります。また、土曜授業日は45分授業です。朝読書の時間が十分には取れませんので、空いた時間や家庭での読書活動を増やしましょう。(月2冊の読書が全校課題となっています。)

総合的な学習の時間のうち、週1時間分については教科の授業への振替を行い、振替分については、3学期にまとめ取りをする形をとります。

(2) 年間行事予定

毎月2回の土曜授業日を設けます。そのうち一回は、‘土曜授業プラン’として、保護者・地域等への公開を行う予定です。基本的には午前中4時間授業で、振替休業日はありません。

10月下旬と3月中旬に、生徒主体の体育的・文化的な取組を行う予定です。例年のような運動会や白梅祭でなく、密を避けた形でできるものを、生徒会や実行委員会を中心に考えていきます。

(3) 教科の授業

授業前後の手洗い、授業中のマスク着用等、感染防止策をとりながら、距離をとって短時間の話し合い活動を行う等、協働的な学習も取り入れていきます。また、数学科の習熟度別指導も行います。

体育、音楽、家庭科等、実技教科については、年間の単元指導計画を入れ替える等の工夫をしますが、一部、個別の実習は家庭での課題にする等についても検討中です。

(4) 部活動

2学期から練習時間が、平日1時間、土日2時間となりました。詳細については、各部の顧問よりお知らせします。短時間でも中身の濃い効果的な練習になるよう、集中して取り組みましょう。まだ、しばらくは暑い日が続きます。引き続き、熱中症予防にも気をつけましょう。

*** お知らせ ***

① 引き取り訓練について(別紙参照)

今年度は、保護者の方の引き取り訓練は行わず、訓練用動画を配信します。ホームページにてご確認ください。

② 牛乳パクリサイクルについて(別紙参照)

8月27日(木)より、牛乳パックのリサイクルを行います。アレルギー等不安のある場合は、担任までご連絡ください。

③ 教職大学院専門実習・学習支援員について

2学期から、東京学芸大学教職大学院生の仲摩泰範さんが、専門実習として1年生に所属し理科の授業を行います。また、学習支援員として週2日、島村優季さんが勤務します。

④ 小6保護者説明会について

9月9日(水)の14時15分から、本校体育館にて小6保護者説明会を行います。上履き、筆記用具をご持参ください。詳細はホームページにてご確認ください。

現時点での新型コロナウイルスのワクチンは「正しく知ること」だと言われています。ウイルスについての正しい理解と実践で、感染拡大を防止しましょう。また、感染者への誹謗中傷は決して許されるものではありません。冷静に判断し、行動しましょう。会話の際はマスク着用を忘れずに！ 毎日必ず、手洗い、うがい、思いやり！！

